

原稿作成要領

1. 原稿はA4判の用紙を用い、上下左右の余白幅は2 cm以上とする。和文原稿では1頁あたり38字×32行、英文原稿では38字×25行とする。文字サイズは10.5~12ポイント。和文では本文は明朝体、見出しはゴシック体を用いる。英文ではTimes New Romanを用いる。

行末の英単語は右端揃えせず、ハイフンも用いずに単語全体を次行へ送る。アルファベット、記号および算用数字は半角とする。和文では、句読点は「，．」を用い、句読点および括弧、コロンなどの記号は全角で記述する。

図表を除く本文全ての行の左に通し番号をつけ、フッターには頁番号をつける。本文と図表は同じファイルにまとめる。

2. 原稿は次の順序で記述する。本文中の項目は、適宜省略もしくは組み合わせることができる（「結果および考察」「RESULTS AND DISCUSSION」など）。各項目の詳しい書き方は次項以降を参照すること。総説・原著

a. 和文原稿

1 頁目：略表題（20字以内）・表題・著者名・所属および住所・脚注

2 頁目：ABSTRACT（英文表題・ローマ字著者名・英文所属および住所・英文内容抄録（250語以内））・英語キーワード（6語以内）

3 頁目以降：緒言・材料と方法・結果・考察・摘要（500字以内）・謝辞・引用文献（改頁して）図の説明・表・図

b. 英文原稿

1 頁目：略表題（50字以内）・表題・著者名・所属および住所・脚注

2 頁目：ABSTRACT（250語以内）・Keywords（6件以内）

3 頁目以降：INTRODUCTION・MATERIALS AND METHODS・RESULTS・DISCUSSION・ACKNOWLEDGEMENTS・REFERENCES

（改頁して）FIGURE LEGENDS・TABLES・FIGURES

（改頁して）和文摘要（表題・著者名・所属および住所・内容抄録（500字以内））。ただし、日本語を母国語としない著者による場合に限り、和文摘要を省略できる。

短報・資料

短報は原著に準ずるが、本文中の見出しを省くことができる。和文原稿では英文ABSTRACTは必要であるが、和文摘要は不要である。英文原稿ではABSTRACT、和文摘要ともに不要である。和文の表題・著者名・所属または住所は1頁目脚注に記述する。

資料は論文形式をとらない。

3. 表題

表題では原則としてダニの和名（一般名）と学名の両方を表記する。和名（一般名）がない場合は学名のみ表記する。英文表題では、先頭および固有名詞・学名等のみ先頭文字を大文字にする。ただし、刷り上がり時は各単語の先頭文字が大文字となる。なお、和文英文ともに表題の学名には学名の著者を記述する。

4. 著者名、所属の書式

著者名は、和文では姓名の間に半角空白を入れる。英文では名・姓の順に、名は頭文字のみ大文字、姓は全て大文字で書く。複数の著者がいる場合、和文では中点（・）でつなぐ。英文では半角コンマ（,）でつなぐ。最後はandでつなぐ。

著者名の次の行には所属、郵便番号、住所を記述する。所属、郵便番号ならびに住所は、和文では立体で表記するが、英文ではイタリック体とする。所属名は正式名称での記述を原則とするが、混乱が生じない範囲での略称の使用も可能である。大学は大学名および学部等の部署を記載する。所属が異なる著者を含む場合には、全ての所属についてそれぞれ改行して表記する。著者名の右肩に上付数字1,2...を付け、所属の文頭に対応する上付数字を付けて区別する。

複数の著者がいる場合、連絡先著者 1 名には右肩に星印*を付けたうえで、脚注に e-mail アドレスを記述する。著者が 1 名の場合でも、連絡先著者は記述すること。

また、当該研究が行われた機関から移動した著者があれば、その現所属・住所を脚注に記述する。その際の肩付き文字は短剣符 (†), 二重短剣符 (‡), セクション記号 (§), などを順に用いる。

【例】

和文原稿

岡部 貴美子^{1*}・五箇 公一²・飯島 勇人¹・亘 悠哉¹・山内 健生^{3†}

¹ 森林総合研究所, 〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

² 国立環境研究所, 〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

³ 帯広畜産大学, 〒080-8555 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地

-- (脚注)

*連絡先著者: e-mail: xxx@yyy.ac.jp

† 現在:

英文原稿

Tsukasa WAKI¹, Satoshi SHIMANO^{2*†}

¹ Faculty of Science, Toho University, 2-2-1 Miyama, Funabashi, Chiba 274-8510, Japan

² Science Research Center, Hosei University, 2-17-1 Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8160, Japan

-- (脚注)

* Corresponding author: e-mail: xxx@yyy.ac.jp

† Present address:

5. 和文原稿の ABSTRACT

英文表題を記述し、改行して英文で著者名、所属、郵便番号、住所を記述する。書式は、前項の英文原稿の例を参考にする。一行空けて、250 語以内の英文内容抄録を記述する。

6. Keywords

キーワードは英文で 6 件以内とし、Keywords: に続いてアルファベット順に小文字で記述する。学名や地名の頭文字等は太字とする。キーワード間はコンマでつなぐ。

7. 本文

本文中の動植物の和名はカタカナ、属・種・亜種の学名はイタリック体に指定する。なお、これらの学名は本文中の初出においては、亜種小名から属名まで完全表記し、学名の著者・日付（記載年）を付す。なお、学名の著者が複数の場合は&でつなぐ。ただし、学名の著者が 3 名以上の場合、初出以外は第 1 著者の名前に続けて et al. を使用して示すことができる。

単位と略号は国際単位系 (SI) に準拠する。当面使用できる非 SI 単位は次の通りとする。Y (year), °C, a, ha, t, Da, L (dm³), M (mol/dm³), hPa または Pa, Ci, R, °, ', '' (角度) など。

本文、図表ともに数値には 3 桁ごとにコンマを入れる。

見出しおよび小見出しは左詰めで記述する。和文では見出しおよび小見出しともに太字、ゴシック体とする。英文の見出しは太字、Times New Roman とし、小見出しは斜体、太字、Times New Roman とする。小見出しに通し番号をつけても良い。

【和文原稿の例】

材料と方法

管理状況が異なる調査地における…

草刈り状況が下草でのカブリダニ発生状況に及ぼす影響を評…

【英文原稿の例】

MATERIALS AND METHODS

Study site and greenhouse setup

This experiment was conducted...

8. 文献記載の書式

引用文献記載の書式はAPA (American Psychological Association) スタイルに準じる (APA マニュアル第7版 <https://apastyle.apa.org/products/publication-manual-7th-edition>)。本文中での文献の引用は、丸括弧内に著者名と発行年をコンマで区切って示す。著者が2名の場合は著者名を和文では中点(・)、英文ではandまたは&でつなぐ(以下の「本文中での引用例」参照)。3名以上の場合は第一著者名のあとに和文では「他」、英文では立体のet al.をつける。同一著者による同年発行の論文を複数引用する場合は、Takaku (2020a), Takaku (2020b)のように発行年につづいて本文で引用した順にa, b, c...の文字をつけて区別する。ひとつの括弧内に入れる場合はTakaku (2020a, 2020b)のように示す。異なる著者の論文をひとつの括弧内に入れる場合はセミコロンで区切り、発行年・第一著者名のアルファベット順で並べる。和文でも年号は半角数字を用いること。

【本文中での引用例】

1名の著者の論文

Ohkubo (2003)...

...(Kurosa, 2003; Ohkubo, 2001)

天野 (1999) によると...

… (天野, 1999; 岡部, 1999)

2名の著者の論文

Shimano and Norton (2003) have shown...

...(Shimano & Norton, 2003)

Shimano & Norton (2003) によると, …

林・増永 (2001) の報告では, …

… (林・増永, 2001)

3名以上の著者の論文

Mizutani et al. (2003) have shown...

... (Kuwahara et al., 1994, 2001)

大橋他 (2003) の報告では, …

… (大橋他, 2003)

引用文献リストでは、原稿の末尾に本文および図表で引用したもののみを挙げる。なお、本文および図表中で用いられた学名の出典は、見出しならびにシノニムリスト中のものを除き、引用文献リストには含めない。3名以上の著者の文献でもすべての著者名を列記する。引用文献の配列は著者名のアルファベット順とする。第1著者が同じ場合には、まず単著の文献を発行年順に並べ、続いて共著の文献をあとに続ける。共著の文献は共著者の人数が少ないものを先に記述し、第2著者名、第3著者名…のアルファベット順に並べる。すべて同一著者の場合は、発行年順に並べる。同一著者で同一発行年の場合は、Takaku (2020a), Takaku (2020b)のように、本文で引用した順を示すa, b, c...の小文字アルファベットの順とする。

和文では著者の姓または名が1字の時は姓名の間に半角空白を入れ、著者が複数の場合は著者名を半角コンマでつなぎ、最後は&でつなぐ。英文では著者名は姓、名の頭文字の順に記述し、著者が複数の場合は半角コンマでつなぎ、最後は&でつなぐ。&の前後、半角コンマの後ろには半角スペースを入れる。

副題はコロンでつなぐ。雑誌名は略記せず、英文ではイタリック体とする。和文の場合は雑誌名が英文であってもイタリック体としない。巻はイタリック体とし、号は省略せず括弧に入れて記す。

引用文献が印刷中の場合は、和文では(印刷中)、英文では(in press)と末尾に括弧付きで記述する。また、英文原稿で和文の文献を引用する場合は末尾に(In Japanese), (In Japanese with English abstract)などと記す。

論文の場合：

著者名. (発行年). 表題. 記載誌名, 巻(号): ページ-ページ.

Author. (Year). Title. *Journal*, volume(number), xxx-xxx.

【例】

- 山内健生. (2024). 食塩包埋によるシュルツェマダニ咬着個体の除去. *日本ダニ学会誌*, 33(1), 13–17.
- 島野智之, & 久保田 直. (2023). 日本産水生ササラダニ類 4 科の目録 (汎ササラダニ目: ササラダニ亜目). *日本ダニ学会誌*, 32(2), 67–74.
- 岡部貴美子, 五箇公一, 飯島勇人, 亘 悠哉, & 山内健生. (2022). マダニ媒介人獣共通感染症対策における統合的管理の課題. *日本ダニ学会誌*, 31(2), 49–65.
- Kakoki, S. (2024). Effect of acaricides/pesticides on *Brevipalpus phoenicis* (Geijskes), which damages the passion fruit, and the influence of high temperature on its survival. *Journal of the Acarological Society of Japan*, 33(1), 1–12 (In Japanese with English abstract).
- Abé, H., & Ito, T. (2021). Parasitism of water mites (Acari: Hydrachnidia) on caddisflies (Insecta: Trichoptera) in Hokkaido, Niigata, and Yamanashi Prefectures in Japan. *Journal of the Acarological Society of Japan*, 30(2), 31–39.
- Naka, A., Ohta, K., Sakai, K., & Hashimoto, T. (2022). First record of *Argas vespertilionis* (Ixodida: Argasidae) in Okayama Prefecture: Capture during cleaning of a 24-hour ventilation system. *Journal of the Acarological Society of Japan*, 31(2), 85–88.

単行本の場合 :

著者名. (発行年). 書名 (改訂 # 版). 出版社.

Author. (Year). Title. # ed. Publisher.

【例】

國本佳範. (2019). ハダニ防除ハンドブック: 失敗しない殺ダニ剤と天敵の使い方. 農山漁村文化協会.

Sonenshine, D. E. (1991). *Biology of Ticks, Volume 1* (1st ed.). Oxford University Press.

単行本 (分担執筆) の場合 :

著者名. (発行年). 表題. 編集者名, 書名 (pp. ページ–ページ). 出版社.

Author (Year). Title. Editor, Book Title. # ed. (pp. xxx–xxx). Publisher.

【例】

山口 昇, & 北岡茂男. (1980). マダニ科. In 江原昭三 (編), *日本ダニ類図鑑* (pp. 144–161). 全国農村教育協会.

Linquist, E. E., Krantz, G. W., & Walter, D. E. (2009). Order Mesostigmata. In G. W. Krantz, & D. E. Walter (Eds.), *A Manual of Acarology* (pp. 14–232). Texas Tech University Press.

電子媒体の場合 :

著者名. (発行年). 表題. 閲覧年月日, URL.

Author. (Year). Title. Date of access, URL.

【ウェブ資料の例】

農研機構 (編). (2019). オオバのシソサビダニおよびシソモザイクウイルス (PMoV) 検出マニュアル第 2 版. Retrieved December 28, 2024, from

https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/kensyutu_20180528140000.pdf

Toyoshima, S., Kishimoto, H., & Amano, H. (2013). *Phytoseiid Mite Portal*. Retrieved November 10, 2024, from <http://phytoseiidae.acarology-japan.org>

【動画の例】

Pfingstl, T., Hiruta, S. F., Nemoto, T., Hagino, W., & Shimano, S. (2021, February 8). *Supplement 2. Tweeted video of mite's walking by TN. (Version 2)*. figshare. <https://doi.org/10.6084/m9.figshare.13250393.v2>

9. 図表

図表は和文原稿であっても英文とするが、図表表現が英文では困難、あるいは和文使用が投稿目的に強くなると判断される場合は、図表に和文を併記してよい。ただし、その必要性は編集委員会で判断する。

表は Table 1, Table 2 … の順に名前を付ける。横線のみ用い、縦線は使わない。表の表題は表の上に記載し、文末にはピリオドをつける。表に注釈をする場合は、表中の関連語句に a), b), c) … などの上付文字をつけ、表の下に注釈文を記述する。注釈文の文頭に関連語句と対応した a, b, c … などの上付き文字をつ

ける。注釈文末にもピリオドをつける。原稿本文の「図の説明」（後述）の後に改頁して1頁に1表ずつ順番につける。

図は Fig. 1, Fig. 2 … の順に名前を付ける。原稿本文の表の後に改頁して1頁に1図ずつ順番につける。「図の説明」は「引用文献」の次の頁に記載する。表題の文末にはピリオドをつけ、説明は改行せず続ける。

登載決定後に編集部へ送付する最終原稿において、図の希望挿入箇所を本文の右端に朱書きする。その際、写真や原図も電子メールにより送付する。ビットマップ画像 (.tiff, .jpg など) で保存の場合、カラーやハーフトーンの写真・線画などの解像度は 350 dpi 以上、記載図などに用いるモノクロ 2 値の線画は 1,200 dpi 以上とする。

10. その他

研究が文部科学省研究費や各種助成金による場合、脚注または謝辞にその旨を但し書きする。

【和文原稿の例】

本研究は JSPS 科研費 JPxxxxxxx, JPyyyyyyy, JPzzzzzzz の助成を受けたものである。

【英文原稿の例】

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Numbers JPxxxxxxx, JPyyyyyyy, JPzzzzzzz.

著者（すべての共著者を含む）は、研究に影響を与える、もしくは不公正を生む可能性があるすべての関係性または利害を明らかにする必要がある。直接的もしくは間接的に研究と関与する潜在的利益相反としては、雇用関係にある企業からの金銭的利益や報酬以外の利害関係、コンサルタント業務、株主または投資株等の金銭的利益、諮問委員会または理事会の職、もしくは他の経営管理の類の関係性、資金提供機関等からの研究助成金等が挙げられる。なお、利益相反が存在しても、それ自体は出版に影響するものではない。責任著者は、すべての著者から利益相反に関する確認を取り、その旨を脚注もしくは謝辞に記載しなければならない。

利益相反がない場合：

【和文原稿の例】

本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

【英文原稿の例】

The authors declare that they have no known conflict of interest to influence the work reported in this paper.

The authors have no competing interests to disclose.

申告すべき利益相反がある場合：

【和文原稿の例】

著者 A は X 社よりコンサルタント業務の謝礼を受けた。

著者 B は Y 社から講演謝礼を受けており、Z 社の株式を保有している。

【英文原稿の例】

Author A received a consultant honorarium from Company X.

Author B received a speaker honorarium from Company Y and owns stock in Company Z.

参考：

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)

<https://www.icmje.org/disclosure-of-interest/>

不明点・疑問点は編集部までお問い合わせください。